※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００１

令和８年度　芸術科　美術工芸

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校「美術１」（光村図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

絵画技法や立体制作の技術を学び、そこから発想は柔軟・大胆に表現でいるようにしたい。また身の回りにある美しいものを見て感じる心、他者の作品の良さに気付く感性を磨こう。そして創造する楽しさや自分の中にあるイメージを形にするおもしろさに気付き、「つくりたい！」という気持ちを大切に、粘り強く制作してほしい。失敗しても良いので、試行錯誤すればきっと自分の個性が輝く作品が生まれるだろう。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）　対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

（２）　造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

（３）　主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期・後期	絵画	クロッキー	a:身体のバランスや骨格を意識しすばやくとらえ描いている ｂ:前回の自分の反省点をふまえ,バランス・運筆に気をつけて描いている c:毎回モデルのﾎﾟｰｽﾞや動勢に注意し,意欲的に取り組んでいる。 c:他者の作品の良さを感じとりふりかえりに記入している。	クロッキー帳	ふりかえりシート 観察	ふりかえりシート
	鑑賞	展覧会鑑賞レポート 美術番組鑑賞レポート 完成作品の発表	c:他者の作品に対し、造形的な良さや美しさ、作者の心情や意図、文化的背景などを読み取り、言葉にする			鑑賞レポート ふりかえりシート
前期	デザイン	クロッキーブックの表紙 黒だけのデザイン	a:　黒のペンによる表現をいかし、美しく仕上げている。 b:文字デザインの美しさを感じ、様々な自分らしい表現を試みる。 b:自分のイニシャルをもとにオリジナルで美しい構成を考える。 c:ロゴやマークにこめられた意味を知り、美しさを感じ取る。	作品	アイデアスケッチ 作品	アイデアスケッチ 観察
	デザイン	色彩構成 ・色相と明度、彩度 ・ﾄｰﾝの違いによるｼﾙｴｯﾄ効果	a:　絵の具の特性を活かし、筆などの用具を適切に使いこなして美しい画面を作成している。 ｂ:色彩の基礎知識に関心をもち、色の効果を考え配色を工夫できている。 ｃ:主体的に主題を考え、表現を追求している。 b:条件を基にした形体・色彩の工夫がなされている。 c:　他者の作品や自分の作品について造形的な要素に基づいた意見を述べられる。	作品 ワークシート	作品 アイデアスケッチ	ワークシート アイデアスケッチ ふりかえりシート

※令和４年度以降入学生用

後期	絵画	版画 ・モチーフスケッチ 水墨画風 ・彫り進み版画	a: 技法の手順を理解する。 b:スケッチを元に版画の特徴を活かした独自の構成を生み出す。 c:様々なタッチでスケッチを試みた上で、下絵を十分考慮している。 a:明度についての理解を深めいろいろな色を作ることができる。 b:ゴム版の彫りの楽しさを感じ、線や面を効果的に活かす。 b:色の組み合わせの工夫し色の効果を工夫し摺る。 c:他者の作品や自分の作品について造形的な意見を述べられる。	下絵 作品	アイデアシート 観察 作品	アイデアスケッチ 振り返りシート
	立体	線材による立体 ・モチーフスケッチ ・針金で立体に表現	a:道具を効果的に使い技術を身につけ制作する c:モチーフを様々な角度からスケッチし対象物への理解と立体感を掴む。 b: モチーフの形を自分なりに消化して構成していく。 b：針金による表現の可能性を活かそうとする。 ｃ:他者の作品や自分の作品について造形的な意見を述べられる。	練習課題の作品 作品	アイデアスケッチ 作品	アイデアスケッチ ふりかえりシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度